

# 地域マインド教育ⅠⅡⅢⅣ

## オーガナイザー

地域医療支援センター 教授 上野 雅巳  
地域医療支援センター 講師 蒸野 寿紀

地域マインド教育Ⅰ	M-01-02-L
地域マインド教育Ⅱ	M-02-12-L
地域マインド教育Ⅲ	M-03-21-L
地域マインド教育Ⅳ	M-04-31-L

## 教員名

地域医療支援センター 助教 中村 有貴  
地域医療支援センター 助教 川端 大輝

## Ⅰ 授業の目的

地域枠（地域医療枠・県民医療枠・県民医療枠A・B・C）学生が、地域医療の現状を理解し、地域医療に従事する医師の必要性と求められる役割を認識することで、地域医療に参加する意欲と地域社会に貢献する気概を養うことを目的とする。また、卒業後に地域医療に従事する学生間で地域医療の現場における課題を共有し、地域医療の質の向上のために必要な事項について考える機会とする。また、県民医療枠B・C学生については、産科・小児科・精神科診療に早期に触れる機会とする。

## Ⅱ 到達目標

1. 地域社会における医療の状況、医師の偏在の現状を概説できる
2. 地域医療に従事する医師の必要性を説明できる
3. 地域医療に従事する医師に求められる役割を説明できる
4. 地域における、保健・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間の連携の必要性を説明できる
5. かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる
6. 地域における救急医療、在宅医療及びへき地医療の体制とその必要性を説明できる
7. 家族や地域といった視点を持ち、心理・社会的背景により配慮した診療の必要性を説明できる
8. 地域医療の限界についても認識し、高次医療機関と連携した医療提供の必要性を説明できる
9. 低学年から継続的に地域医療の現場の課題を共有し、解決に必要な事項を列挙できる
10. 地域医療に積極的に参加・貢献する気概を身につける

## Ⅲ 教育内容

### 講義項目と担当者

担当者については、地域医療の現場を経験した医師、産科・小児科・精神科医師等に依頼する予定である。  
詳しい内容・履修方法については別途明らかにする。

No.	月日	曜日	時限	項目	担当科	担当
1	R6.9.19	(木)	5	地域医療に求められる医師の役割	地域医療支援センター	中村 有貴
2	R6.9.26	(木)	4	夏季実習報告会	地域医療支援センター	上野 雅巳・蒸野 寿紀 中村 有貴・川端 大輝
3	R6.9.26	(木)	5	夏季実習報告会	地域医療支援センター	上野 雅巳・蒸野 寿紀 中村 有貴・川端 大輝

※1年生・4年生は4限14:20～15:30、5限15:40～16:50となっているので注意すること

## Ⅳ 学習および教育方法

### 講義とレポート作成

夏季実習報告会では地域医療支援センターで実施している夏季実習での経験に基づいて発表・討論を行う

## Ⅴ 評価の方法

出席態度50%、レポート50%で評価する

夏季実習報告会での発表内容も評価に加味する

## Ⅵ 推薦する図書

特になし

